

貧酸素水塊速報 (2016年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 ○ 神奈川県水産技術センター ○ 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (国) 国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成28年9月26～27日観測結果

貧酸素水塊は、湾奥の沿岸部を除いた内湾北部のほぼ全域と、扇島沖に分布しています(図1)。内湾北部の水深15m以深の海域では、溶存酸素量が0.5ml/Lを下回り、強く貧酸素化した状態が続いています。

しかし、縦断ラインの鉛直断面をみると、貧酸素水塊の分布は海底付近に限られ厚みはありません(図2)。またその規模も直近10年の平均を下回っています(図3)。

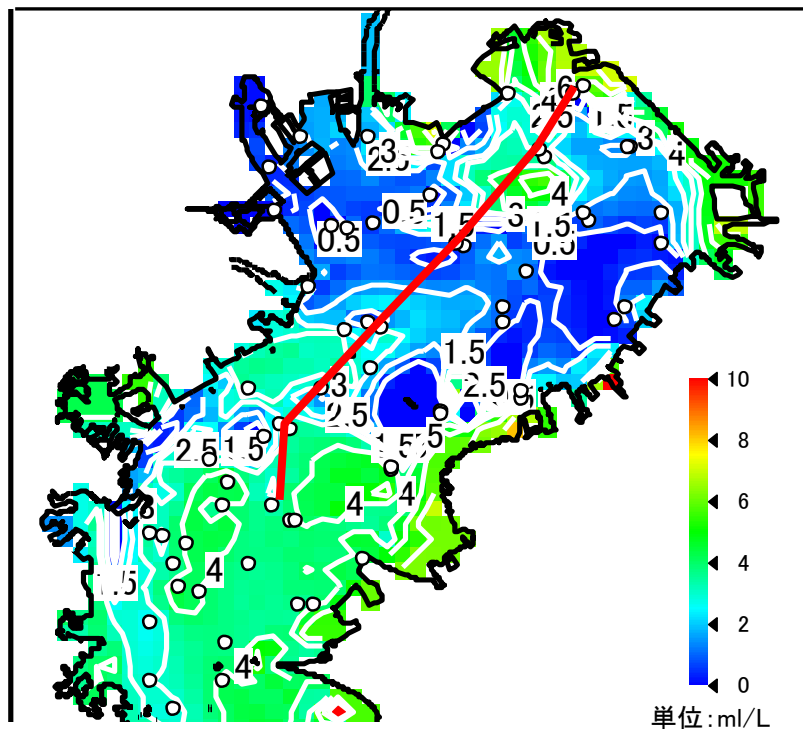


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

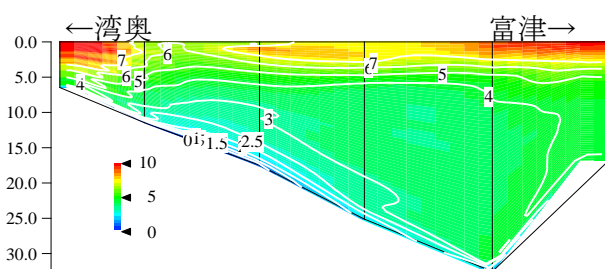


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

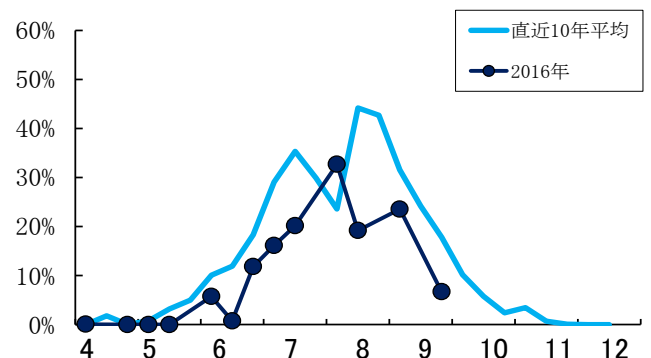


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)